

# 2026年 科学AI覇権争い：主要3社の戦略と市場の地殻変動

科学研究開発分野（AI for Science）における主要AI企業3社（Anthropic, OpenAI, Google DeepMind）の戦略的アプローチ、製品特性、および市場の背景を比較・解説する。

## 2026年 プロダクトリリース・タイムライン



2026年4月

### GPT-Rosalind

生物学・創薬の高度な推論



2026年5月

### Gemini for Science

自律型エージェントによる科学検証の自動化

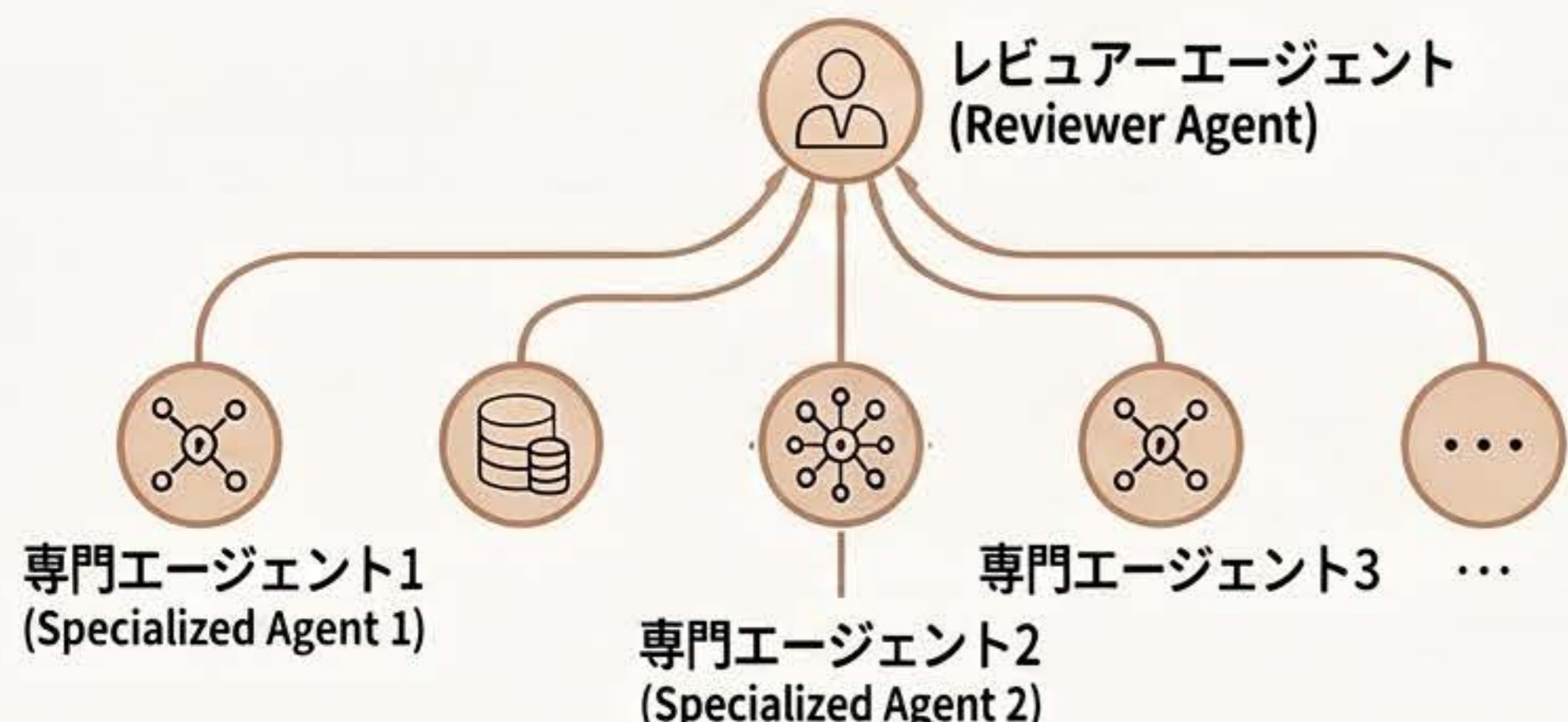


2026年6月

### Claude Science

研究ワークフローとデータベースの統合

#### Anthropic：ワークフローの統合と摩擦の排除



マルチエージェント協調アーキテクチャの視覚化

既存モデルを基盤に、60以上のDB統合やローカル実行環境を提供し、研究実務の効率化を最優先。

IQ (推論能力)：高 UX (統合性)：最高 Ecosystem (包括性)：中

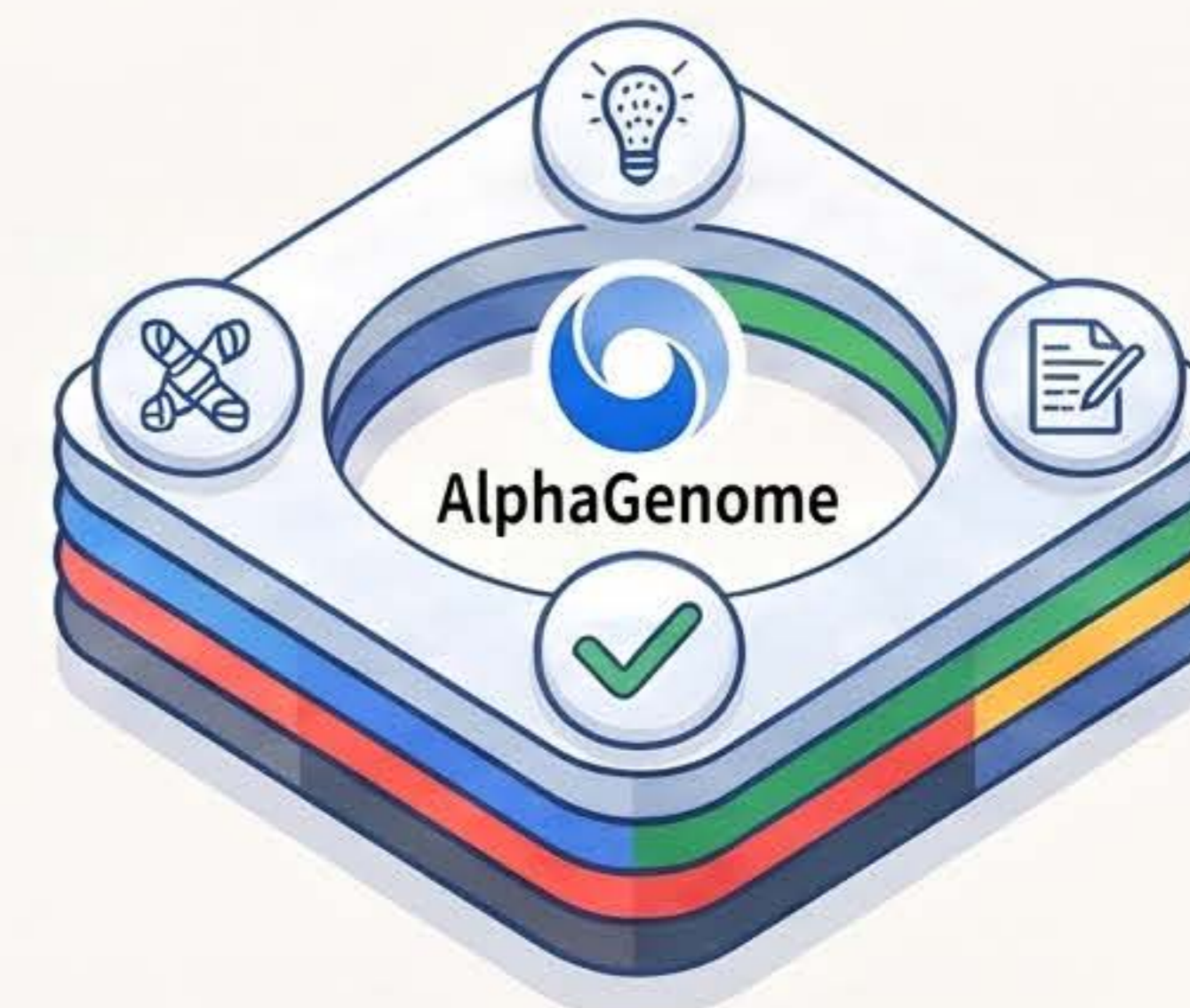
#### OpenAI：圧倒的なドメイン特化型推論



生物学・創薬に発化し、汎用モデルを波瀾する深い推論能力を持つ専用モデル「GPT-Rosalind」を展開。

IQ (推論能力)：最高 UX (統合性)：高 Ecosystem (包括性)：低

#### Google DeepMind：包括的な科学エコシステム



仮説生成から検証までを自動化するマルチエージェント群や「AlphaGenome」などの専門モデルを重層的に構築。

IQ (推論能力)：非常に高 UX (統合性)：中 Ecosystem (包括性)：最高

## 市場を突き動かす3つの背景



天文学的なバリュエーションとIPOへの圧力  
1兆ドル近い企業価値を正当化するため、メガファーマからの安定したB2B収益獲得が至上命題。



ノーベル賞級タレントの激しい引き抜き合戦  
AlphaFold開発者らトップ研究者の移籍が、科学AIのパワーバランスを揺るがす象徴的な出来事に。



国家安全保障とバイオセキュリティの緊張  
AIのデュアルユース性により、政府による輸出規制や機密データ保護（ローカル実行）が不可欠な要素に。